

平成27年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	母子保健要員研修等事業等			担当部局	雇用均等・児童家庭局		作成責任者	
事業開始年度	昭和39年度	事業終了(予定)年度	平成26年度	担当課室	総務課		古川 夏樹	
会計区分	年金特別会計子どものための金銭の給付勘定			政策・施策名	VI-2-2 児童の健全な育成及び資質の向上に必要なサービスを提供すること			
根拠法令(具体的な条項も記載)	児童手当法第29条の2			関係する計画、通知等	母子保健要員研修等事業費等の国庫補助について(厚生事務次官通知 H10.4.23 厚生省発児第81号)			
主要政策・施策	少子化社会対策、男女共同参画			主要経費	社会保障			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	母子保健医療に携わる者が最新の医学、技術を体得するための研修を実施するとともに、児童並びに家庭に関する情報の把握・分析・提供を行うことなどにより、児童の健全な育成と資質の向上に資することを目的とする。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	① 医師、保健師等、検査技術者など母子保健医療に携わる者が最新の医学、技術を体得するための研修の実施等を行う。 (全国ブロック研修(全国4ブロック)、先天代謝異常症等検査技術者研修会、子どもの心の診療医研修会) ② 子どもや家庭に関連する行政や民間団体等の取組や、研究成果等を継続的に把握、分析し、インターネットにより提供する。 ○ 実施主体：(社福)恩賜財団母子愛育会							
実施方法	補助							
予算額・執行額(単位：百万円)	予算の状況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
		計	173	49	49	0	0	
	執行額	173	49	49				
	執行率(%)	100%	100%	100%				
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 - 年度
	母子保健要員研修事業(全国ブロック研修(全国4ブロック)、先天代謝異常症等検査技術者研修会、子どもの心の診療医研修会)受講者数	人数	成果実績	人	1,304	1,308	1,150	
			目標値	人	1,552	1,432	1,662	-
			達成度	%	84%	91.3%	69.2%	
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 - 年度
	情報提供サイトのアクセス数(前年度の成果実績を目標値に設定)	アクセス数	成果実績	アクセス数	5,963,496	9,760,935	9,214,479	
			目標値	アクセス数	3,234,053	5,963,496	9,760,935	-
			達成度	%	184.4%	163.7%	94.4%	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
	研修の回数	活動実績	回	9	8	6		
		当初見込み	回	9	8	7	-	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
	サイトのコンテンツ(公開している学術的見解等の数)	活動実績	コンテンツ数	69	76	36		
		当初見込み	コンテンツ数	60	70	76	-	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
	予算額/受講者数 (一人当たりの経費)	単位当たりコスト	円	21,207	21,021	24,170	-	
		計算式	/	27,654,000/1,304	27,496,000/1,308	27,795,000/1,150	-	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
	予算額/アクセス数 (1アクセス当たりの経費)	単位当たりコスト	円	3.5	2.2	2.3	-	
		計算式	/	20,924,000/5,963,496	21,114,000/9,760,935	21,512,000/9,214,479	-	
平成27・28年度予算内訳 (単位：百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	事務費、事業費	-	-	平成26年度で事業終了のため				
	計	0	0					

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	母子保健医療に携わる者が最新の医学、技術を体得するための研修の実施や、児童並びに家庭に関する情報の把握・分析・提供等は重要であり、広く国民のニーズに応えることを目的としているため、国が実施すべき事業であり、国費を投入する必要がある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	広く国民のニーズに応えることを目的としており、母子保健医療に携わる者が最新の医学、技術を体得するための研修の実施や、児童並びに家庭に関する情報の把握・分析・提供等は重要であり、国が実施すべき事業である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	母子保健医療に携わる者が最新の医学、技術を体得するための研修の実施や、児童並びに家庭に関する情報の把握・分析・提供等は、現場での対応に生かされており、優先度が高い。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	-	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	母子保健医療に携わる者が最新の医学、技術を体得するとともに、児童並びに家庭に関する情報が広く国民に提供されることを踏まえ、コスト水準は妥当である。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	本事業の実施に必要な人件費や広報経費等、事業に必要な経費のみを補助対象としている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	母子保健医療に携わる者が最新の医学、技術を体得する等の成果目標に見合った成果実績となっている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	母子保健医療に携わる者に知見のある団体が研修を実施するとともに、児童並びに家庭に関する情報の把握・分析・提供等を行っており、現場での対応に活かされていることから、効果的である。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	当初見込みに見合った活動実績となっている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	母子保健指導者の参考に供するものとして、現業、行政、研究、臨床の各方面で活用される国際的専門情報の収集、検索、提供及び「母子保健情報誌」の編集、発行事業を行うとともに、児童並びに家庭に関する情報を継続的に把握・分析し、広く国民に提供しており、十分活用されている。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
	-	-	-		
点検・改善結果	点検結果	広く国民のニーズがある、母子保健医療に携わる者が最新の医学、技術を体得するための研修の実施は重要であり、国が国費を投入し、実施する必要がある。平成26年度の研修受講者数は1,150件にのぼっており、引き続き、児童の健全な育成と資質の向上に資するという観点から、本事業は必要である。			
	改善の方向性	研修を通じ、母子保健に携わる者が医学技術を体得することは児童の健全な育成と資質の向上に必要不可欠である。なお、研修事業については平成27年度より一般会計(項)子ども・子育て支援対策費(目)子ども・子育て支援対策推進事業委託費にて実施し、さらなる事業の推進に努めていく。			
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	759	平成24年度	667
平成25年度	948	平成26年度	651		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
49百万円

〔書類の審査、交付決定〕



A.社会福祉法人 恩賜財団母子愛育会
49百万円

〔母子保健医療に携わる者に対する
研修の実施や児童並びに家庭に関
する情報の把握・分析・提供等〕

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位:百万
円)

A.			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事務費	児童福祉や母子保健の推進のための諸謝金、賃金、旅費、印刷製本費、雑役務費等の経費	25			
事業費	児童福祉や母子保健の推進のための諸謝金、賃金、旅費、購入費、印刷製本費、通信運搬費等の経費	24			
計		49	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(社福)恩賜財団母子愛育会	母子保健医療に携わる者が最新の医学、技術を体得するための研修の実施や子ども家庭福祉に関する情報提供等	49	-	-